



# 鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第76号

2015年7月1日

平成27年度年次総会を海の道むなかた館で開催

## 海と森のつながりを考えた2日間

平成27年度総会・研究大会ならびにシンポジウムが5月31日(日)に、宗像市の「海の道むなかた館」を会場に開催された。研究発表やシンポジウムのほか、前日の見学会にも関心は高く、2日間で延べ100人を超える会員が参加した。

総会では藺田稔理事長、西高辻信良・福岡県支部長(太宰府天満宮宮司・福岡県神社庁長)代理の竹間宗麿・福岡県神社庁副庁長(高良大社宮司)、高向正秀・大会実行委員長(宗像大社宮司)の挨拶の後、林進理事を議長に選出。正会員総数262名のうち委任状を含む136名の出席を得て、平成26年度事業報告・収支決算、平成27年度事業計画、収支予算について審議承認した。

事業計画と収支予算については、会員の減少による会費収入の減少などから、事業を縮小せざるを得ないことを説明。定例研究会については他団体との共催などで、出来るだけ現行の開催回数を確保していくことを約した。

また、東日本大震災発生直後から継続してきた被災地での社叢復興支援事業については、今年度が事業最終年と位置付けられていることから、総括的な報告書を作成し、会誌『社叢学研究』などに発表していくことを説明した。



挨拶する藺田稔理事長



沖津宮遷拝所(大島)

更に、支援が要請されている越木岩神社(西宮市)の、隣接地での大規模開発によって衰退が懸念される社叢の保全運動への協力と、社叢に影響を及ぼす可能性のある近隣開発への対処方法等について情報提供をしていくことを報告した。

最後に、前日の理事会で、古谷朗子氏、濱上晋介氏、堀内大樹氏の社叢インストラクター資格更新が認められたことを発表した。

引き続いての研究発表では、「大阪の神社境内樹木」(増井啓治)、「モイドン(森殿)の緑地計画的意味に関する一考察―鹿児島県錦江町周辺を対象として」(上田萌子)、「東アジアの「水」をめぐる「伝統の森」の文化の資料化～山・河・里・海の「命」を繋ぐ水と森の文化史的考察」(李春子)をテーマに、活発な質疑が展開された。

午後からのシンポジウムでは、まず三輪嘉六・国立九州博物館前館長が基調講演。パネルディスカッションでは、海と森の連環について、暮らし、信仰、自然という側面から多彩に考察した。

前日の見学会は、まず宗像大社辺津宮で正式参拝。普段は公開されていない高宮祭場、第二宮、第三宮などを参拝した後、大島に渡り、中津宮、沖津宮遷拝所などを訪れた。九州本土に戻り、織幡神社でイヌマキ大木群を観察後、辺津宮神宝館で沖ノ島出土の国宝の数々を拝見した。

第1号議案

平成26年度事業報告書  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
通常総会の開催 関連事業の開催	年次総会・シンポジウム・研究発表会 見学会(末の松山・仙台平野閑上地区等)	6月 22日 6月 21日	竹駒神社 東日本大震災被災地
理事会の開催(3回) 第39回 第40回 第41回 第42回	平成26年度総会開催 等 理事長の選任等 平成27年度総会開催、来期体制について 等 平成27年度総会運営 等	6月22日 6月22日 10月27日 3月13日	竹駒神社 竹駒神社 交通会館 社叢学会事務局
定例研究会の開催 関西 第61回 第62回 第63回 第64回 第65回  関東 第60回 第61回  第62回 第63回	樹の気持ちをナノ(ナノファイバー)で考える 京都大学芦生演習林見学会 京都の社叢の植物(樹木観察) 甦る桜の園 ～向日神社の鎮守の森～ 森林文化と文明開化―香春岳と武甲山をめぐる課題  東北の芸能とその現状 都心に蘇える鎮守の森 ―日本橋室町・福德神社 を訪ねる 鎮守の森には病気はない? 「鎮守の森コミュニティ活動」の現状	7月19日 9月20日 11月29日 1月24日 3月28日  5月17日 10月11日  12月20日 2月21日	コープイン京都 京都大学芦生演習林 吉田神社～金戒光明寺 コープイン京都 京都教育文化センター  國學院大學 福德神社  國學院大學 國學院大學
社叢調査	亀岡市における調査 水度神社社叢調査と管理	通年 5月	亀岡市内各神社 水度神社(城陽市)
東日本大震災被災地社叢 調査と復興への取り組み	これまでの活動を総括するシンポジウムの開催 大杉神社における復興祈念植樹祭の実施と経過観察	6月22日 6月23日	竹駒神社 大杉神社
会員証発行	会員約500名分	通年	会員へ郵送
会報発行(6回)	「鎮守の森だより」(A4判・4～6ページ)	奇数月初旬	会員へ郵送
会誌発行	『社叢学研究』(A4判・90ページ)	3月初旬	会員へ郵送
社叢インストラクター養成事業 セミナーの開催	第9回社叢インストラクター養成セミナー	11月29日・1月 17日	吉田神社・枚岡神社
ホームページおよび SNSの運営	会員並びに一般市民に対するPR	通年	インターネット

第2号議案

平成26年度事業会計収支決算  
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

科目	金額		科目	金額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,045,000		総会関係費	554,014	
市民会員会費	240,000		定例研究会費	244,547	
賛助会員会費	1,750,000		会報「鎮守の森だより」関係費	339,653	
協力会員会費	640,000	3,675,000	会誌『社叢学研究』関係費	416,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	97,310	
社叢インストラクター養成事業	86,000		社叢管理実験関係費	463,865	
書籍販売	6,000		震災関連事業費	1,149,790	3,265,179
総会関連事業	478,370	570,370	2 管理費		
3 助成金収入	700,000	700,000	雑給	1,800,000	
4 雑収入			旅費交通費	154,660	
受取利息	447		通信費	124,460	
大杉神社における植樹	220,000		地代家賃	907,200	
事業に対する寄付			租税公課	589	
その他寄附	34,823	255,270	事務用品費	24,495	
			支払手数料	78,652	
			水道光熱費	8,427	
			理事会関係費	50,677	
			雑費	10,800	3,159,960
当期収入合計(A)		5,200,640	当期支出合計(B)		6,425,139
当期収支差額(A)-(B)					-1,224,499
前期繰越支出差額(C)					1,638,864
次期繰越収支差額(A)-(B)+(C)					414,365

## 第3号議案

平成27年度事業計画書  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

事業名	事業内容実施	予定日等	実施予定場所等
通常総会の開催 関連事業の実施	年次総会・シンポジウム・研究発表 宗像大社辺津宮・中津宮・神宝館見学会	5月31日 5月30日	海の道むなかた館 宗像大社
理事会の開催		3回程度	本部事務局等
定例研究会の開催 関西定例研究会 関東定例研究会 中部定例研究会 福岡県定例研究会	会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発 会員相互の研鑽、市民への啓発	7月・11月・28年3月 7月・10月・12月・28年2月 2回 1回	伏見稲荷大社他 國學院大学他 太宰府天満宮他
社叢調査	亀岡市における調査	通年	亀岡市内各神社
東日本大震災被災地における被災社叢復興と復活への取り組み	5年間の事業のまとめ	通年	
会員証発行	平成27年度会員証約500名分	5月～	会員へ郵送
会報発行(4回)	社叢に関する情報と研究会報告	3ヶ月毎の初旬	会員へ郵送
会誌発行	研究論文と情報	28年3月	会員へ郵送
社叢インストラクター 養成事業	社叢インストラクター養成セミナー等の開催 社叢インストラクター資格検定試験の実施 社叢インストラクタークラブの運営 社叢インストラクターによる社叢相談会の開催 森林インストラクター協会との協働事業	7～9月 28年2月	
ホームページおよびSNSの運営	会員並びに一般市民に対する	通年	インターネット

## 第4号議案

平成27年度収支予算書  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

科目	金額		科目	金額	
I 収入の部			II 支出の部		
1 会費収入			1 事業費		
正会員会費	1,100,000		総会関係費	700,000	
市民会員会費	270,000		定例研究会費	200,000	
賛助会員会費	1,700,000		「鎮守の森だより」関係費	200,000	
協力会員会費	650,000	3,720,000	『社叢学研究』関係費	450,000	
2 事業収入			社叢インストラクター養成事業費	60,000	
社叢インストラクター養成事業	65,000		資格制度関係費	10,000	
資格検定料・認定料	15,000		養成セミナー関係費	50,000	
養成セミナー等参加料	50,000		東日本大震災被災社叢復興への取り組み	0	1,610,000
書籍販売	5,000		2 管理費		
総会関連事業参加費等	600,000	670,000	雑給	1,800,000	
3 助成金	0	0	旅費交通費	150,000	
4 雑収入			通信費	120,000	
利息	300	300	地代家賃	907,200	
			租税公課	1,000	
			事務用品費	60,000	
			支払手数料	60,000	
			水道光熱費	10,000	
			理事会関係費	10,000	
			雑費	5,000	3,123,200
			3 予備費	0	0
当期収入合計(A)		4,390,300	当期支出合計(B)		4,733,200
当期収支出差額(A)－(B)					-342,900
前期繰越支出差額(C)					414,365
次期繰越収支差額(A)－(B)＋(C)					71,465

報告事項 東日本大震災被災地における社叢復興事業の最終年の取り組みについて  
社叢インストラクター資格更新認定について  
越木岩神社磐座・社叢の保存運動への協力および近隣開発への対処方法についての情報提供の件

## 事務局から

- 平成27年度(2015年4月～2016年3月)の会費を頂いた方には順次、会員証をお送りしています。お手元に届いていない場合は、お手数ですが事務局までお知らせください。
- 『社叢学研究』14号への投稿募集が始まりました。社叢学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されております。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひ、ご投稿ください。また、論文のみならず、研究ノート、社叢訪問記や身近な活動などの報告も、お寄せください。
- 1面でもお知らせいたしましたが、事業を縮小せざるを得ない状況に陥っております。助成金の獲得を目指すなど、何とか現状維持を目指しますが、当面、「鎮守の森だより」は季刊とさせていただきます。次号は10月初旬の発行となります。

ります。よろしくご了承くださいますよう、お願いいたします。

- 進士五十八・本学会顧問によるみどりの学術賞受賞記念講演会が7月12日(日)13時半から日本科学未来館で開催されます。聴講ご希望の方はTEL 03-3502-8111 までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

はいはい、九州でも牧羊犬のように走り回りましたよお～～～！ で、事業縮小とはタイヘンな事態ではないかっ！？ なのになぜか危機感ってものが感じられない。と思っていると、さるラジオ番組で、オトコの脳はあんまり心配しないようにできていると聞く。心配ばかりしていると戦えないからだそう。なるほど！ 何とかかなると思ってるわけね。って納得したところで状況はな～～んにも変わらないんだけど！ (藤岡 郁)

## 次回予告【第65回関東定例研究会】

- ◆日 時：7月4日(土) 13:00～16:30
  - ◆場 所：國學院大學渋谷キャンパス120周年記念2号館1階 2104教室
  - ◆テーマ：神社と狩猟神事・農耕儀礼  
基調講演：シシウチ神事と農耕儀礼 野本 寛一(近畿大学名誉教授)  
シポヅルム：奥三河のシカウチ神事の本義と変遷  
小林 稔・佐々木経人・鈴木良幸・桜井弘人
  - ◆上映：奥三河のシカウチ神事(國學院大學茂木研究室制作、平成25年)
- 共催：國學院大學環境教育研究プロジェクト・ポーラ伝統文化振興財団・共存学プロジェクト・神道宗教学会

## 次回予告【第66回関西定例研究会】

- ◆日 時：7月25日(土) 13:30～15:30
- ◆場 所：伏見稻荷大社儀式殿(伏見区藪ノ内町68)
- ◆講 師：服部 保(兵庫県立大学名誉教授)
- ◆テーマ：社叢研究40年の成果－照葉樹林研究－

## 掲 示 板

## 『原稿募集!』

『社叢学研究』第14号への投稿：論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月30日(金) 活動報告等12月25日(金) いずれも必着。

\* 書評欄では会員の皆さまの著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115 京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号  
TEL 075-212-2973 FAX 075-212-2916  
URL <http://www.shasou.org> E-Mail [shasou@ams.odn.ne.jp](mailto:shasou@ams.odn.ne.jp)

社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内  
TEL 080-1514-5032 E-Mail [shasougakkai@hotmail.com](mailto:shasougakkai@hotmail.com)